TSE:9531

2021年度（2022年3月期）

第3四半期決算説明会

2022年1月28日

TOKYO GAS

01

2021年度
第3四半期決算実績概要

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

2021年度3Q実績（連結）（2021.4.1 – 2021.12.31） 対前年同期実績 3

ポイント　増収減益

（+/▲は利益に対する影響を示す，億円）

売上高	+1,534	原料費調整に伴う都市ガス単価増　等。
営業費用	▲1,821	原油価格上昇の影響　等。
営業利益	▲287	フレーム影響に伴う都市ガス単価差による粗利減　等。
特別損益	+90	当期　36　：(特別利益）投資有価証券売却益　36 前期 ▲54　：(特別損失）減損損失▲75、投資有価証券評価損▲46 (特別利益）投資有価証券売却益　47、負ののれん発生益　20

（単位：億円）

		2021年度3Q	2020年度3Q	増減	%
都市ガス販売量（百万m³、45MJ）		9,022	8,912	110	1.2
電力販売量（百万kWh）		20,025	17,685	2,340	13.2
内訳	小売（百万kWh、需要端）	7,687	7,152	535	7.5
	卸他（百万kWh）	12,339	10,533	1,806	17.1
売上高		13,875	12,341	1,534	12.4
営業費用		13,499	11,678	1,821	15.6
営業利益		375	662	▲287	▲43.4
セグメント利益（営業利益＋持分法損益）		420	665	▲245	▲36.9
経常利益　…①		462	609	▲147	▲24.1
特別損益		36	▲54	90	—
親会社株主に帰属する当期純利益		338	424	▲86	▲20.3
補正項目	気温影響　…②	▲50	▲12	▲38	—
	スライドタイムラグ　…③（都市ガス＋LNG販売）	▲272 (▲240＋▲32)	140 (115＋25)	▲412 (▲355＋▲57)	—
	年金数理差異個却額　…④	82	6	76	—
補正経常利益　…①-（②+③+④）		702	475	227	47.8

経済フレーム	2021年度3Q	2020年度3Q
為替レート(¥/$)	111.14 (+5.04)	106.10
原油価格($/bbl)	73.95 (+34.90)	39.05
平均気温（℃）	19.7 (+0.3)	19.4

年金	2021年度3Q
運用利回り ※コスト控除後	2.49%
期末資産（億円）	2,640

<期待運用収益率：2%>

※2021年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

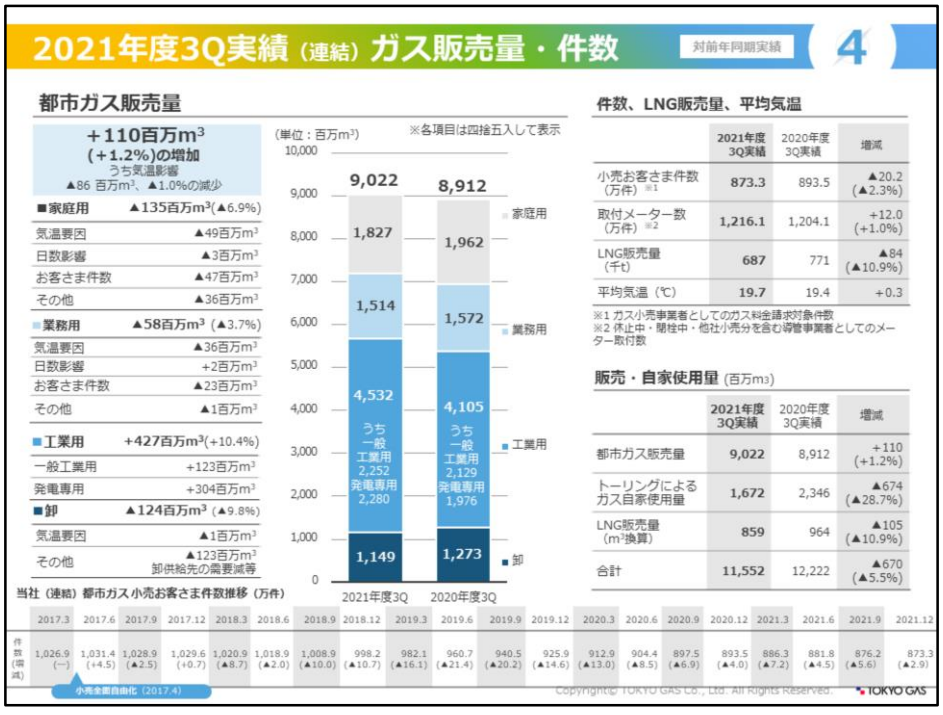
Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

第３四半期の業績は「増収減益」となりました。

売上高は、＋１２.４％増の１兆３，８７５億円となりました。これは、「ガスセグメント」における原料費調整に伴う、都市ガス単価増が主な要因です。

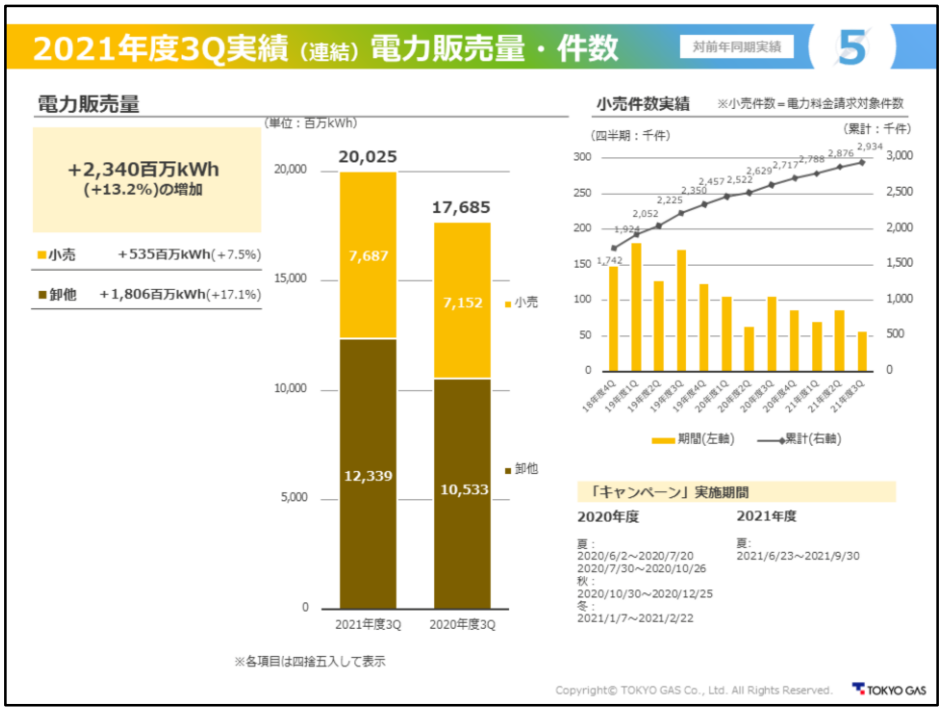
営業費用は、＋１５.６％増の１兆３，４９９億円となりました。これは、「ガスセグメント」における原油価格上昇等に伴う、原材料費増が主な要因です。

この結果、営業利益は▲４３.４％減の３７５億円、
経常利益は▲２４.１％減の４６２億円となり、特別損益において、有価証券売却益＋３６億円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、▲２０.３％減の３３８億円となりました。



ガス販売量についてご説明いたします。

第３四半期のガス販売量は、＋１.２％増となりました。
４月の高気温等、気温影響やお客様件数減により家庭用で▲６.９％減少したものの、工業用で＋１０.４％増となりました。これは主に発電専用の顧客獲得によるものです。



電力販売量についてご説明いたします。５ページをご覧ください。

第３四半期の電力販売量は、全体では＋１３.２％増となりました。
小売においては、契約件数の増加や収益認識基準変更により、＋７.５％増となりました。
卸他については、新電力等への販売増加により＋１７．１％増となりました。

2021年度3Q実績（セグメント別）売上高・利益

対前年同期実績

6

（単位：億円）

	売上高				セグメント利益（営業利益＋持分法損益）			
	2021年度3Q実績	2020年度3Q実績	増減	%	2021年度3Q実績	2020年度3Q実績	増減	%
ガス	8,920	7,958	962	12.1	164	644	▲480	▲74.5
（都市ガス）	7,324	6,721	603	9.0	184	659	▲475	▲72.0
（LNG販売）	1,035	1,006	29	2.8	▲133	▲14	▲119	—
電力	3,086	2,823	263	9.3	116	148	▲32	▲21.7
海外	624	317	307	96.5	217	23	194	831.8
（持分法損益）	—	—	—	—	37	▲4	41	—
エネルギー関連	2,275	2,361	▲86	▲3.6	109	117	▲8	▲7.3
（ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞｿﾘｭｰｼｮﾝ）	986	960	26	2.7	44	45	▲1	▲2.8
不動産（持分法損益含む）	433	355	78	21.9	128	66	62	92.1
その他（持分法損益含む）	737	789	▲52	▲6.6	14	24	▲10	▲42.0
調整額	▲2,202	▲2,265	63	—	▲328	▲359	31	—
セグメント合計額	13,875	12,341	1,534	12.4	420	665	▲245	▲36.9
（持分法損益）	—	—	—	—	45	2	43	—

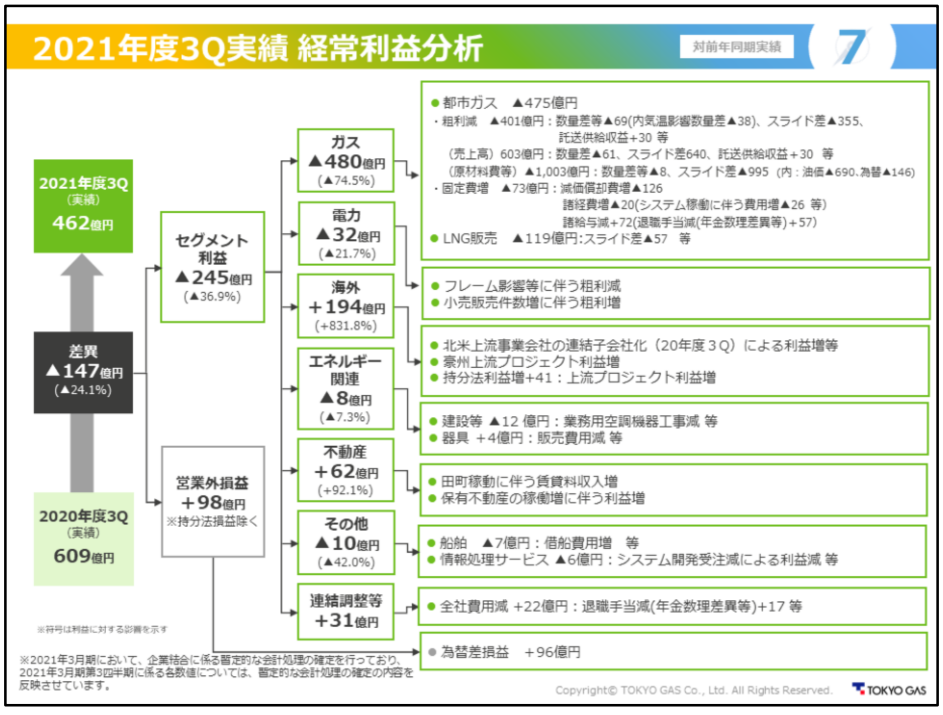
〔注〕・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
・「ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディング等を含みます。「エネルギー関連」には、ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞｿﾘｭｰｼｮﾝ、ガス器具、ガス工事、建設、クレジット等を含みます。「その他」には、情報処理サービス、船舶等を含みます。
・セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
※2021年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年3月期第3四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

TOKYO GAS

セグメント別の売上高、および営業利益に持分法損益を加えたセグメント利益とその増減を記載しております。

セグメント利益については、▲３６.９％減の４２０億円となりました。
「海外セグメント」における＋１９４億円増が全体利益を押し上げたものの、「ガスセグメント」における▲４８０億円減により、全体で減益となりました。



ガスセグメントの▲４８０億円の減益は、原料価格の変動に伴うスライドタイムラグの悪化による粗利減、減価償却費増等による固定費増等が主な要因です。

電力セグメントは、小売り件数増等による増益があったものの、フレーム影響等による粗利減により、▲３２億円の減益となりました。

海外セグメントは、北米上流事業会社の連結化や油価上昇伴う豪州上流プロジェクトの利益増等により、＋１９４億円の増益となりました。

不動産セグメントは、田町稼働にともなう賃貸料収入増等による利益増により、＋６２億円の増益となりました。

02

2021年度通期見通し

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

2021年度見通し（連結）（2021.4.1 － 2022.3.31）

9

ポイント　増収増益(対前回見通し)

(+/▲は利益に対する影響を示す, 億円)

	対前回見通し	
売上高	+1,200	原料費調整に伴う都市ガス単価増、都市ガス販売量増　等。
営業費用	▲1,150	原油価格上昇の影響、都市ガス販売量増　等。
営業利益	+50	フレーム影響に伴う都市ガス単価差による粗利増　等。
特別損益	+8	今回　36　:(特別利益) 投資有価証券売却益　36 前回　28　:(特別利益) 投資有価証券売却益　28

(単位: 億円)

	見通し	前回見通し	増減	%	前年度実績	増減	%
都市ガス販売量 (百万m³, 45MJ)	12,963	12,382	581	4.7	12,990	▲27	▲0.2
電力販売量 (百万kWh)	27,874	26,964	910	3.4	24,761	3,113	12.6
売上高	20,900	19,700	1,200	6.1	17,651	3,249	18.4
営業費用	19,850	18,700	1,150	6.1	16,874	2,976	17.6
営業利益	1,050	1,000	50	5.0	776	274	35.2
セグメント利益 (営業利益＋持分法損益)	1,099	1,037	62	6.0	791	308	38.8
経常利益 …①	1,030	930	100	10.8	705	325	46.1
特別損益	36	28	8	27.6	▲43	79	—
親会社株主に帰属する当期純利益	760	670	90	13.4	495	265	53.5
補正項目　気温影響 …②	▲50	▲31	▲19	—	▲54	4	—
補正項目　スライドタイムラグ …③ (都市ガス+LNG販売)	▲29 (3+▲32)	▲242 (▲214+▲28)	213 (217+▲4)	—	▲121 (▲120+▲1)	92 (123+▲31)	—
補正項目　年金数理差異償却額 …④	111	111	0	—	8	103	—
補正経常利益 …①-(②+③+④)	998	1,092	▲94	▲8.6	872	126	14.4

経済フレーム	見通し	前回見通し	前年度実績
為替レート (¥/$)	112.11 (+2.20)	109.91	106.10
原油価格 ($/bbl)	74.21 (+4.07)	70.15	43.35
平均気温 (℃)	16.4 (+0.1)	16.3	16.5

*4Q：原油価格75$/bbl、為替レート115円/$

年金		2020年度	2019年度	2018年度
運用利回り ※コスト控除後		4.94%	0.33%	1.65%
割引率	年金分	0.318%	0.264%	0.156%
	一時金分	0.075%	0.012%	0.000%
期末資産 (億円)		2,630	2,590	2,670

<期待運用収益率：2%>

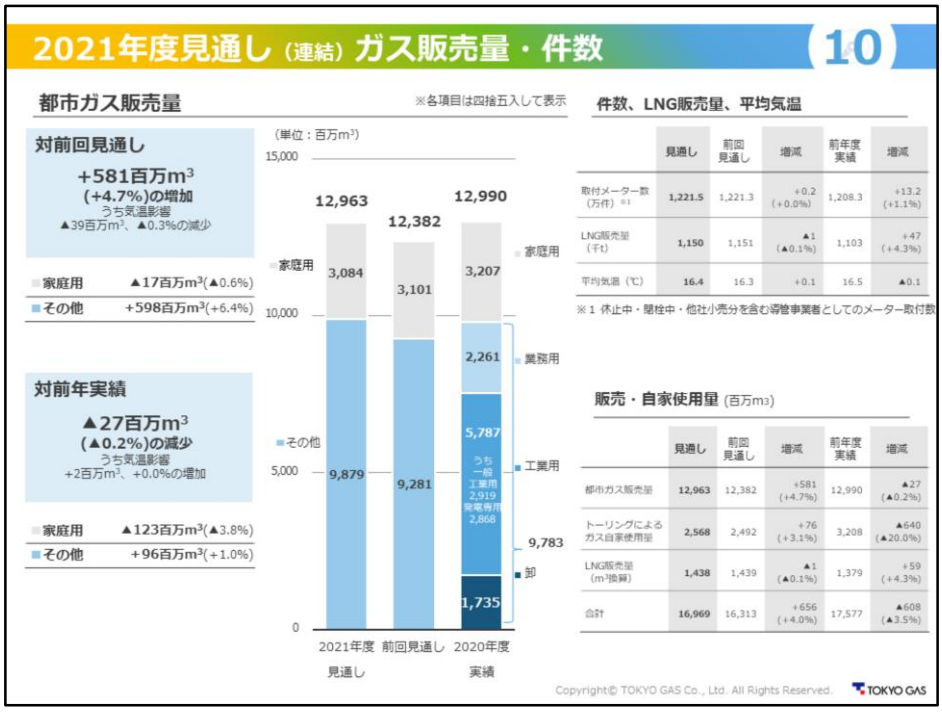
Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

２０２１年度通期につきましては、「増収増益」と見通しております。見通しの前提となる１月以降の経済フレームは、原油価格については１バレル７０ドルから７５ドルに、為替レートについては１１０円から１１５円に変更しています。

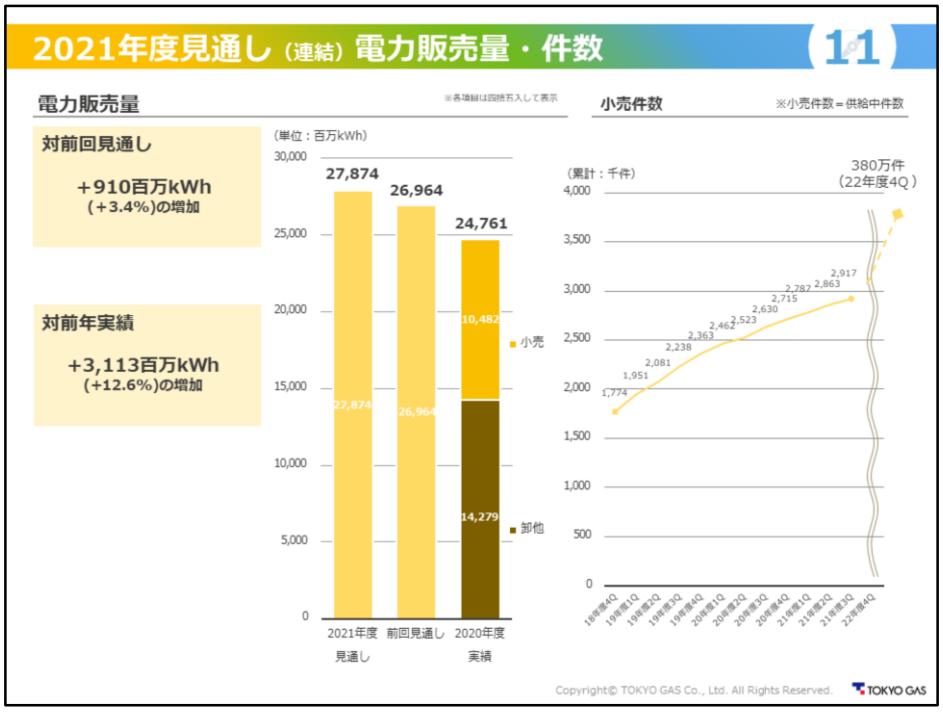
売上高は＋６．１％増の２兆９００億円と見通しております。これは、「ガスセグメント」における、原料費調整に伴う都市ガス単価増、都市ガス販売量増等が主な要因です。

営業費用は＋６．１％増の１兆９，８５０億円と見通しております。これも原油価格上昇に伴う原材料費増、都市ガス販売量増等が主な要因です。

この結果、営業利益は＋５．０％増の１，０５０億円、
経常利益は＋１０.８％増の１，０３０億円となり、
親会社株主に帰属する当期純利益は、＋１３.４％増の７６０億円と見通しております。



ガス販売量は、前回見通しとの対比で＋４.７％増を見込んでいます。主に発電専用のお客さまにおける稼働増等、工業用における販売量増を見込んでおります。



電力販売量についてご説明いたします。

電力販売量は、前回見通しとの対比で＋３.４％増を見通しており、主に卸他の販売量増を見込んでおります。

2021年度見通し（セグメント別）売上高・利益

対前回見通し

12

（単位：億円）

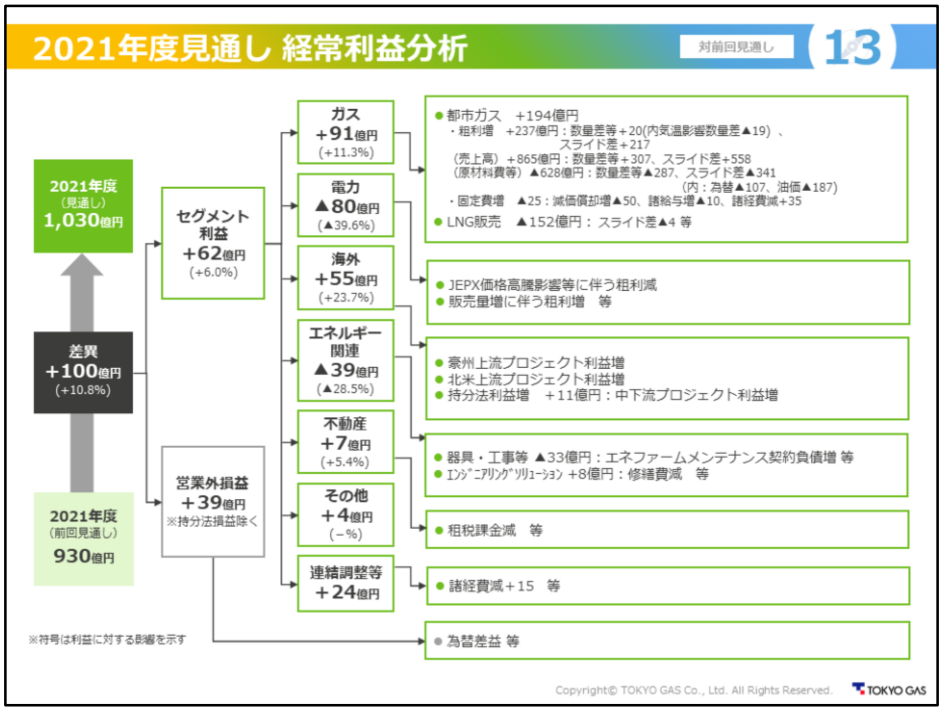
	売上高				セグメント利益（営業利益＋持分法損益）			
	見通し	前回見通し	増減	%	見通し	前回見通し	増減	%
ガス	13,758	12,740	1,018	8.0	896	805	91	11.3
（都市ガス）	11,515	10,650	865	8.1	898	704	194	27.7
（LNG販売）	1,736	1,642	94	5.7	▲153	▲1	▲152	—
電力	4,594	4,299	295	6.9	120	200	▲80	▲39.6
海外	856	816	40	4.9	287	232	55	23.7
（持分法損益）	—	—	—	—	38	27	11	40.6
エネルギー関連	3,043	3,159	▲116	▲3.7	98	137	▲39	▲28.5
（ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞｿﾘｭｰｼｮﾝ）	1,253	1,250	3	0.2	34	26	8	33.7
不動産（持分法損益含む）	568	565	3	0.5	136	129	7	5.4
その他（持分法損益含む）	1,012	1,023	▲11	▲1.1	2	▲2	4	—
調整額	▲2,931	▲2,903	▲28	—	▲440	▲464	24	—
セグメント合計額	20,900	19,700	1,200	6.1	1,099	1,037	62	6.0
（持分法損益）	—	—	—	—	48	37	11	29.8

［注］・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
・「ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディング等を含みます。「エネルギー関連」には、ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞｿﾘｭｰｼｮﾝ、ガス器具、ガス工事、建設、クレジット等を含みます。「その他」には、情報処理サービス、船舶等を含みます。
・セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

セグメント別の売上高および利益の見通しと、前回見通しに対する増減を記載しております。

セグメント利益は前回見通しに対して＋６.0％増の１，０９９億円と見通しております。「ガスセグメント」における＋９１億円増、「海外セグメント」における＋５５億円増が、「電力セグメント」の▲８０億円減を補いました。



セグメント利益の主な増減要因について、次のページで説明いたします。

ガスセグメントの＋９１億円の増益は、スライドタイムラグの拡大が主な要因です。原油価格上昇に伴う原材料費増により、期ずれは悪化するものの、LNGの日本着平均輸入価格（ＪＬＣ）に対して競争力のある調達により補う見通しです。

電力セグメントは、主にＪＥＰＸ価格高騰影響等に伴う粗利減により、▲８０億円の減益を見通しています。

海外セグメントでは、フレーム変更に伴う豪州・北米上流プロジェクトの利益増等により、＋５５億円の増益を見通しています。

2021年度見通し（セグメント別）売上高・利益

対前年度実績

14

（単位：億円）

	売上高				セグメント利益（営業利益＋持分法損益）			
	見通し	前年度実績	増減	%	見通し	前年度実績	増減	%
ガス	13,758	11,467	2,291	20.0	896	884	12	1.3
（都市ガス）	11,515	9,677	1,838	19.0	898	956	▲58	▲6.1
（LNG販売）	1,736	1,394	342	24.5	▲153	▲74	▲79	—
電力	4,594	3,959	635	16.0	120	86	34	38.9
海外	856	459	397	86.4	287	38	249	636.7
（持分法損益）	—	—	—	—	38	4	34	682.2
エネルギー関連	3,043	3,394	▲351	▲10.4	98	170	▲72	▲42.5
（ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞｿﾘｭｰｼｮﾝ）	1,253	1,397	▲144	▲10.3	34	66	▲32	▲48.5
不動産（持分法損益含む）	568	484	84	17.3	136	75	61	80.2
その他（持分法損益含む）	1,012	1,104	▲92	▲8.4	2	38	▲36	▲94.7
調整額	▲2,931	▲3,218	287	—	▲440	▲502	62	—
セグメント合計額	20,900	17,651	3,249	18.4	1,099	791	308	38.8
（持分法損益）	—	—	—	—	48	14	34	228.9

［注］・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
・「ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売、トレーディング等を含みます。「エネルギー関連」には、ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞｿﾘｭｰｼｮﾝ、ガス器具、ガス工事、建設、クレジット等を含みます。「その他」には、情報処理サービス、船舶等を含みます。
・セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

TOKYO GAS

前年度実績との比較、主な増減要因について記載しております。セグメント利益は、対前年＋３８.８％増の１，０９９億円と見通しております。

2021年度見通し 経常利益分析

対前年度実績

15

2021年度（見通し）**1,030億円**

差異 +325億円（+46.1%）

2020年度（実績）**705億円**

セグメント利益 +308億円（+38.8%）

営業外損益 +17億円
※持分法損益除く

ガス +12億円（+1.3%）

- 都市ガス　▲58億円
  - ・粗利増　+60億円：数量差等▲63(内気温影響数量差+4)、スライド差+123
    （売上高）+1,839億円：数量差等▲61、スライド差+1,900
    （原材料費等）▲1,779億円：数量差等▲2、スライド差▲1,777
    （内：為替▲287、油価▲1,388）
  - ・固定費増　▲92億円：減価償却費増▲150、諸経費増▲36、年金数理差異減+82　等
- LNG販売　▲79億円：スライド差▲31 等

電力 +34億円（+38.9%）

海外 +249億円（+636.7%）

- 小売販売量増に伴う粗利増(件数増)
- フレーム影響等に伴う粗利減
- 固定費増(小売販売経費増、再エネ諸経費増 等)

エネルギー関連 ▲72億円（▲42.5%）

- 20年度連結子会社(北米上流事業)、通期連結による利益増
- 豪州上流プロジェクト利益増
- 北米上流プロジェクト利益増
- 持分法利益増　＋34億円：上流プロジェクト利益増

不動産 +61億円（+80.2%）

- ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞｿﾘｭｰｼｮﾝ ▲34億円：大型物件減に伴う利益率減、新規連結化に伴う連結調整による利益減

その他 ▲36億円（▲94.7%）

- 田町における賃貸収入増・租税課金減
- 保有不動産の稼働増による利益増
- 業務移管による租税課金等増 等

連結調整等 +62億円

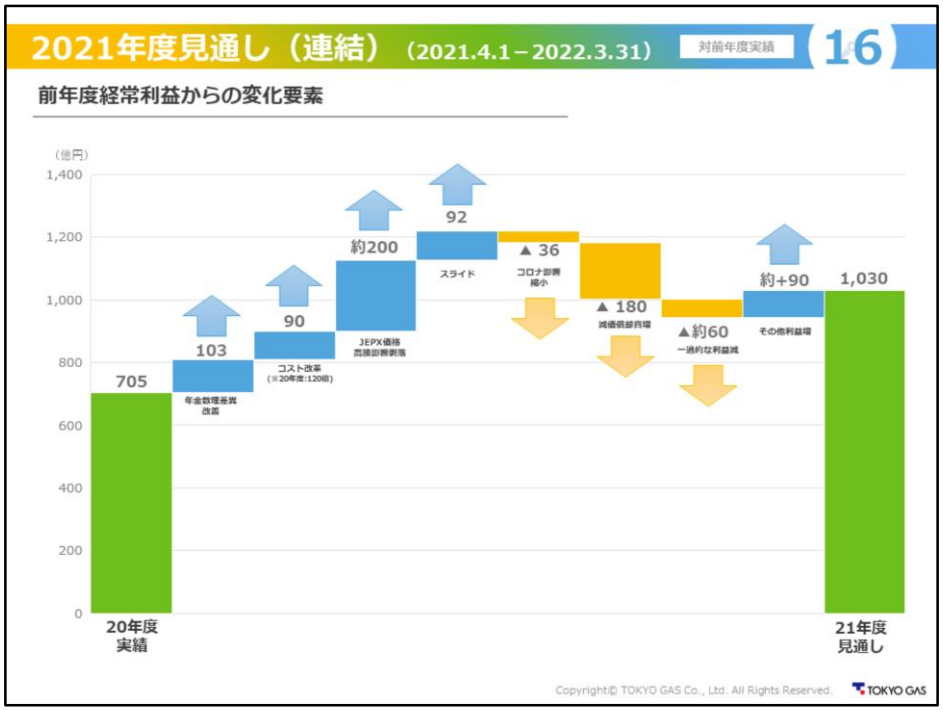
- 船舶　▲28億円：稼働減に伴う利益減　等
- 年金数理差異 ＋20億円、諸経費減＋45億円、連結調整 ▲2億円 等

- 為替差益 、支払利息増　等

※符号は利益に対する影響を示す

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

TOKYO GAS



前年度経常利益からの主な変化要素ごとの、利益増減見通しを図示ししております。

2021年度見通し（連結）キャッシュ・フローの使途（設備投資と投融資）

17

（単位：億円）

		見通し	主な件名	前回見通し	増減	%	前年度実績	増減	%
設備投資	ガス	1,225	製造設備　85（▲4）　：その他製造設備 等 供給設備　852（▲9）　：需要開発 等 業務設備等　287（▲92）　：システム関連 等	1,330	▲105	▲7.9	1,490	▲265	▲17.8
	電力	140	国内再エネ 等	149	▲9	▲5.7	145	▲5	▲3.0
	海外	564	上流（豪州・北米）、海外再エネ 等	649	▲85	▲13.1	488	76	15.5
	エネルギー関連	216	TGESエネルギーサービス事業 等	237	▲21	▲8.5	155	61	39.4
	不動産	110	不動産賃貸事業、建物改修 等	119	▲9	▲8.2	173	▲63	▲36.6
	その他	10		16	▲6	▲37.7	43	▲33	▲76.8
	調整額	▲38		▲42	4	—	▲33	▲5	—
	計	2,230		2,460	▲230	▲9.3	2,464	▲234	▲9.5
投融資（回収含まず）	ガス	0		0	0	—	0	0	—
	電力	141	国内再エネ 、海外電力小売企業への出資 等	69	72	104.3	601	▲460	▲76.5
	海外	265	上流（豪州）、中下流（アジア）、海外再エネ 等	296	▲31	▲10.4	142	123	86.6
	エネルギー関連	102	TGESエンジニアリング事業 等	78	24	30.7	102	0	—
	不動産	39		12	27	225	3	36	—
	その他（無件名含む）	4		726	▲722	▲99.4	5	▲1	▲20.0
	計	554		1,184	▲630	▲53.2	853	▲299	▲35.1
設備投資・投融資（回収含まず）合計		2,784		3,644	▲860	▲23.6	3,317	▲533	▲16.1
回収　計		62		35	27	77.1	32	30	93.8
設備投資・投融資（相殺後）合計		2,721		3,608	▲887	▲24.6	3,285	▲564	▲17.2

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved. TOKYO GAS

２０２１年度におけるキャッシュフローの使途の見通しをお示ししております。

主要計数表（連結）

18

(単位：億円)

		2021年度見通し	2020年度実績	2019年度実績
総資産(a)		29,370	27,383	25,399
自己資本(b)		12,100	11,538	11,477
自己資本比率(b)/(a)		41.2%	42.1%	45.2%
有利子負債(c)		12,020	10,659	9,050
D/Eレシオ(c)/(b)		0.99	0.92	0.79
親会社株主に帰属する当期純利益(d)		760	495	432
1株当たり当期純利益（円/株）		172.86	112.26	97.86
減価償却(e)		1,980	1,798	1,698
営業キャッシュ・フロー(d)+(e)		2,740	2,293	2,131
投資	設備投資	2,230	2,464	2,270
	投融資（回収含まず）	554	853	598
	計	2,784	3,317	2,868
ROA (d)/(a)		2.7%	1.9%	1.7%
ROE (d)/(b)		6.4%	4.3%	3.8%
WACC		2.4%	2.6%	2.7%
総還元性向		50%程度	60.1%	61.0%

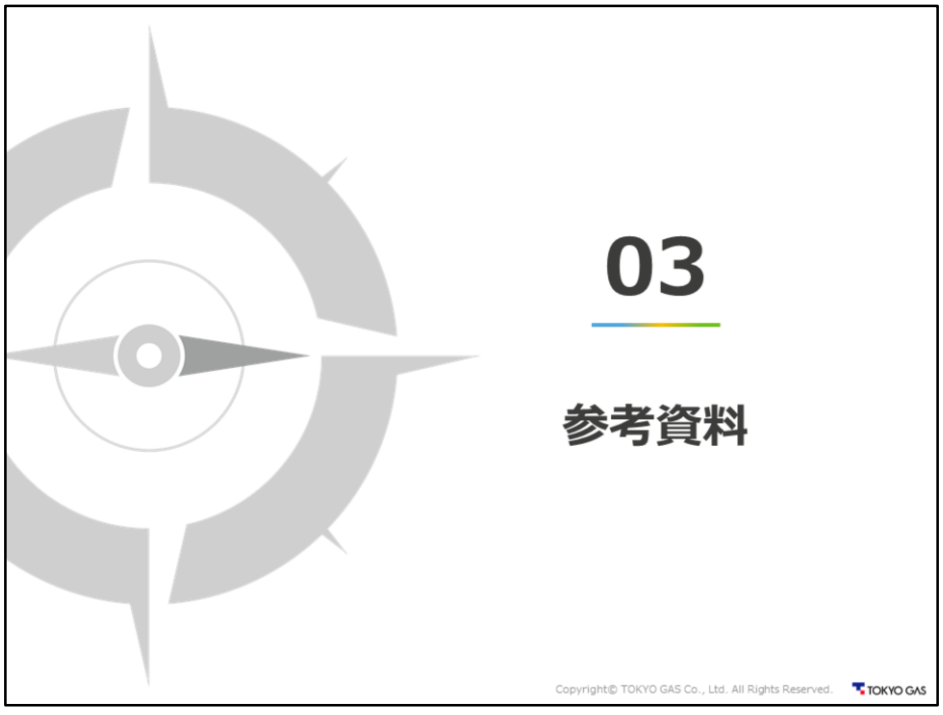
注：
自己資本 = 純資産 – 非支配株主持分
ROA = 純利益/総資産 （期首・期末平均）
ROE = 純利益/自己資本 （期首・期末平均）
BS関連数値は各期末時点の数値
営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却（長期前払費用償却含む）
総還元性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益

■WACC算定諸元(2021年度見通し)
a)有利子負債コスト　実績金利0.71%(税引後)
b)株主資本コスト率
c)リスクフリーレート 10年国債利回 0.02%
d)マーケットリスクプレミアム 5.5% β値 0.75

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

TOKYO GAS

連結ベースの主要計数を掲載しております



巻末には、参考資料として経済フレーム感度表に加え、原油価格・為替レート、本年度の本日までの主なプレスリリース、主な海外投資案件等を掲載しております。

原油価格・為替レート変動の粗利影響感度（都市ガス）

原油価格JCCが$1/bbl上昇する場合

（単位：億円）

		収支影響時期
		第4四半期
変動時期	第4四半期	0

円ドルレートが¥1/$円安になる場合

（単位：億円）

		収支影響時期
		第4四半期
変動時期	第4四半期	▲10

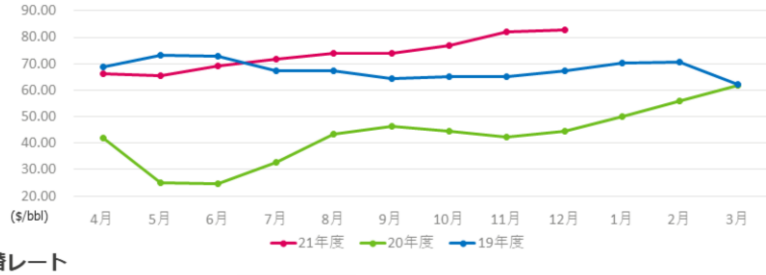
Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

TOKYO GAS

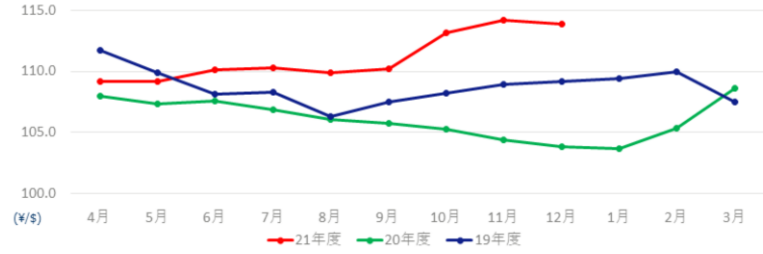
原油価格・為替レート

21

原油価格（JCC）



為替レート



Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

TOKYO GAS

2021年度 主なトピックス（1月28日まで、プレスリリース等より抜粋）

22

全般 (ESG含む)	・定款一部変更に関するお知らせ (4/28) ・会社分割（吸収分割）に関するお知らせ (4/28) ・会社分割(簡易吸収分割)に関するお知らせ（5/19) ・株式報酬制度の導入に関するお知らせ（6/29) ・株式報酬制度における株式取得に関する事項の決定に関するお知らせ (7/28) ・株式報酬制度の導入に伴う第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ (7/28) ・Compass Action～Compass2030実現のための具体的な道筋～（11/26) ・会社分割（簡易吸収分割）による当社完全子会社への震洲埠頭地区スマートエネルギーネットワーク事業の承継に関するお知らせ (1/27) ・東京ガスネットワーク株式会社への子会社2社の吸収合併について(1/28)
ガス・電力 (ESG含む)	・茨城県鹿島港洋上風力発電事業の推進について (4/5) ・日本版洋上風力発電の早期実現に向けた九州大学等との産学共同研究への参画について (4/19) ・東京ガスとNTT東日本の協業による道路埋設物調査・道路工事立会の共同受付の開始について (4/26) ・低圧電気料金メニュー「基本プラン」の新設について（5/13) ・実質再生可能エネルギー100%の電気料金プラン「さすてな電気」を新たに開始（6/3) ・日本初となるカーボンニュートラル都市ガスプランの第三者検証報告書の受領について (6/15) ・KAWASAKI DELTA「サスティナブルなまちづくり」の実践（6/25) ・山口県岩国市におけるメガソーラーの商業運転開始について（7/1) ・東京2020大会 選手村へのカーボンニュートラル都市ガスの供給 (7/13) ・『宇都宮ライトパワー株式会社』の設立について (7/13) ・家庭向けデマンドレスポンスの実証開始について (7/20) ・新築マンション共用部向けに「実質再エネ電気」の提供を開始（9/13) ・日本版洋上風力発電の早期実現に向けた産学共同研究を加速（9/30) ・株式会社東京ガス模須賀パワーの株式譲渡および取得について（9/30) ・国内最大規模となるカーボンニュートラル都市ガス導入（10/18) ・坂出バイオマス発電事業の共同実施に関するお知らせ (10/22) ・CO2排出量実質ゼロエネルギーで家庭部門の排出削減に貢献（11/9) ・法人・個人事業主のお客さま向け電気メニュー「さすてな電気ビジネス」を開始（1/19) ・CO2排出量実質ゼロの電気を「ラディエラ」シリーズ全22種に導入 (1/19) ・NEDOグリーンイノベーション基金事業／洋上風力発電の低コスト化プロジェクトの実施予定先に選定（1/24) ・順天堂と東京ガスによるカーボンニュートラル推進に向けた取り組みについて （1/27)
サービス (ESG含む)	◆エンジニアリングソリューション　　*1　東京ガスエンジニアリングソリューションズによるリリース ・東京ガス野村不動産エナジー株式会社の設立について (4/5) ・宮城県仙台市 バイオマス亜臨火力発電所におけるオーナー支援業務および運転管理業務の委託契約締結ついて (4/7) *1 ・太陽光発電アセットマネジメント業務の高度化を図る実証事業の実施について (4/26) *1 ・家庭用燃料電池「エネファーム」および家庭用蓄電池の遠制御によるバーチャル/パワープラント実証の開始について (6/8) ・Honda熊本製作所における3,800kWの自家消費型太陽光発電事業運転開始について (10/4) *1 ・タイPTTグループとの合弁会社設立について（10/5）*1 ・VPP事業に関する業務提携契約締結について（11/19) ・宮崎県立宮崎病院におけるエネルギーサービス事業の開始について（1/11）*1 ◆その他 ・賃貸管理サポートサービス「まもROOM」の提供を開始 (4/8) ・「東京ガスのハウスクリーニング」を開始（5/11) ・太陽光発電と蓄電池で停電対策！「あんしんWでんち」を開始（5/27) ・電気自動車充電サービス「EVrest（イーブイレスト）」を開始 (11/8) ・家庭用燃料電池「エネファーム」累計販売台数15万台を達成（1/6) ・ソフトウェア「Joyシリーズ」の販売開始について（1/7)

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

TOKYO GAS

2021年度 主なトピックス（1月28日まで、プレスリリース等より抜粋）

23

海外(ESG含む)	・メキシコMT Falcon発電事業の持分売却の合意について (9/16) ・デンマークのイービー社と北欧で約100万kWの再生可能エネルギー開発へ (1/21)
脱炭素化技術開発(ESG含む)	・東京ガスとSCREEN、低コストグリーン水素製造に向けた水電解用セルスタックの共同開発に合意（5/26） ・世界初！都市ガス機器利用時の排ガスを利用した「CO2吸収型コンクリート」製造を開始（7/7） ・メタネーション実証試験を2021年度内に開始 (7/7) ・メガワット級水電解装置を利用した水素実証実験の実施について（7/7） ・お客さま先でのCO2資源化技術の開発について (9/28) ・バイオリアクターによるメタネーションの技術実証に向けた産学共同研究の開始について (10/13) ・世界初！水素燃焼式リチウムイオン電池電極材用連続焼成炉の開発について（11/4） ・カーボンニュートラルメタンのサプライチェーン構築（11/25） ・カーボンニュートラルメタンのサプライチェーン構築に向けた北米、豪州等における事業可能性調査の開始について（11/26） ・JAXAおよび山口大学とメタネーション技術実証に向けた共同研究を開始（12/22） ・東京ガスと野村総合研究所、首都圏のCO2フリー水素の需要ポテンシャルおよび最適供給システム調査を開始（12/23） ・横浜市と東京ガスがメタネーションの実証試験に向けた連携協定を締結 (1/18)
ESG	・2021年 新型コロナウイルス感染拡大に伴うお客さまに対するガスならびに電気料金の特別措置の追加対応について （4/23、5/12、6/14、7/15、8/23、9/16、10/21、11/25、12/21） ・「東京ガスグループ サステナビリティレポート2021」の発行について（8/31）
財務・株主還元	・自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ(4/28)、自己株式の取得完了（5/19）、自己株式の消却（7/28） ・第67回、第68回、第69回、第70回無担保社債発行のお知らせ（7/7） ・株主還元方針の変更に関するお知らせ (9/29) ・2022年3月期（第222期）配当予想の修正に関するお知らせ (10/28)

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

TOKYO GAS

海外プロジェクト

24

地域	番号	国名	案件名称	投資分野／投資内容		参加年
北米	1	米国	イーグルフォード	上流	シェールガス	2016
			TGナチュラルリソーシズ	上流	シェールガス	2017
			ＴＧＥＳアメリカ	中下流	エネルギーサービス	2015
			バーズボロー	中下流	天然ガス発電	2017
			アクティナ	中下流	太陽光発電	2020
			アカリオベンチャーズ	その他	オープンイノベーション	2017
	2	メキシコ	パビオ	中下流	天然ガス発電	2004
			ＭＴファルコン	中下流	天然ガス発電	2010
			エオリオス・エンテーヘー	中下流	再生可能エネルギー開発事業（太陽光・風力）	2019
東南アジア	3	マレーシア	ガスマレーシア	下流	都市ガス	1992
			ガスマレーシアエネルギーアドバンス	中下流	エネルギーサービス	2014
	4	タイ	バンポー	中下流	天然ガス発電	2016
			ガルフ・ダブルエイチエー・エムティー	中下流	ガス配給	2018
			ワン・バンコク	中下流	地域冷房・配電事業	2020
	5	ベトナム	ペトロベトナムガス販売	中下流	導管・ＣＮＧ供給	2017
	6	インドネシア	バンジ・ラヤ・アラミンド	中下流	ガス配給・輸送	2017
			スーパー・エナジー	中下流	ガス配給・輸送	2020
	7	フィリピン	FGEN LNG	下流	LNG基地建設、運営、メンテナンス	2020
オセアニア	8	オーストラリア	ダーウィン	上流	天然ガス生産･液化･販売	2003
			ブルート	上流	天然ガス生産･液化･販売	2008
			ゴーゴン	上流	天然ガス生産･液化･販売	2009
			クイーンズランド・カーティス	上流	天然ガス生産･液化･販売	2011
			イクシス	上流	天然ガス生産･液化･販売	2012

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.

TOKYO GAS

TOKYO GAS

<見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

Copyright© TOKYO GAS Co., Ltd. All Rights Reserved.